

汚れっちまった悲しみに・・・

なかはら ちゅうや
中原 中也

汚れっちまった悲しみに・・・

汚れっちまた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れっちまた悲しみに
今日も風さへ吹きすさる

汚れっちまた悲しみは
たとえ狐の皮裘
汚れっちまた悲しみは
小雪のかかちぢぢまゐる

汚れっちまた悲しみは
なにのそむなくねがつなく
汚れっちまた悲しみは
倦怠のつちに死を夢む

汚れっちまた悲しみに
いたいたしくも怖気づき
汚れっちまた悲しみに
なすこごもなく日は暮れる……

注(1)革表(かわぶち)：皮袋、毛皮で作った防寒用品。
倦怠(けんたい)：なまけ、おだると、怠惰。
夢む(ゆめむ)：「目上」「夢見る」と同じ。

作者 & 構成

(作者)
中原中也
明治40年、昭和12年
詩人
フランス象徴派の影響を受け、
生の憂愁と孤独を独自の韻律
で歌う。
代表詩集に「山羊の歌」「在りし
日の歌」
(構成)
四連十六行から成る
口語自由抒情詩

感想など

- 好きじゃない
- こわい
- さびしい
- 『汚れっちまった悲しみに』は？
- 繰り返しが印象に残る
- 「こ」は「は」の違いは？
- 黒、灰色のイメージ

汚れっちまった悲しみに・・・

汚れっちまた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れっちまた悲しみに
今日も風さへ吹きすさる
汚れっちまた悲しみは
たとえ狐の皮裘
汚れっちまた悲しみは
小雪のかかちぢぢまゐる
汚れっちまた悲しみは
なにのそむなくねがつなく
汚れっちまた悲しみは
倦怠のつちに死を夢む
汚れっちまた悲しみに
いたいたしくも怖気づき
汚れっちまた悲しみに
なすこごもなく日は暮れる……

リフレイン(反復)

強調効果あり

汚れっちまた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れっちまた悲しみに
今日も風さへ吹きすさる
汚れっちまた悲しみは
たとえ狐の皮裘
汚れっちまた悲しみは
小雪のかかちぢぢまゐる
汚れっちまた悲しみは
なにのそむなくねがつなく
汚れっちまた悲しみは
倦怠のつちに死を夢む
汚れっちまた悲しみに
いたいたしくも怖気づき
汚れっちまた悲しみに
なすこごもなく日は暮れる……

鑑賞（第一連）

汚れちまた悲しみに

今日も小雪の降りかかる

汚れちまた悲しみに

今日も風さえ吹きすぎる

汚れちまた悲しみがあかれた
状況

（それ？ に向かって今日も小雪が降りかかり、風さえ吹きすぎていく）

比喻&擬人法

汚れちまた悲しみに

今日も小雪の降りかかる

汚れちまた悲しみに

今日も風さえ吹きすぎる

汚れちまた悲しみに

たとえば狐の皮裘

汚れちまた悲しみに

小雪のかかちてちぢまる

汚れちまた悲しみに

なにぞむなくねがつなく

汚れちまた悲しみに

倦怠のつちに死を夢む

汚れちまた悲しみに

いたいたしくも怖気つき

汚れちまた悲しみに

なすところもなく日は暮れる……

鑑賞（第三連）

汚れちまた悲しみに

なにぞむなくねがつなく

汚れちまた悲しみに

倦怠のつちに死を夢む

汚れちまた悲しみの心境

（向かを望んだり、願ったりするわけではなく、倦怠のつちに死を夢見しているだけ）

鑑賞（第二連）

汚れちまた悲しみに

たとえば狐の皮裘

汚れちまた悲しみに

小雪のかかちてちぢまる

汚れちまた悲しみの状態

（狐の皮裘が汚れてしまったよつなものであり、小雪がかかちてちぢまるよつなも）

鑑賞まとめ

第一連

汚れちまた悲しみがあかれた状況
（それ？ に向かって今日も小雪が降りかかり、風さえ吹きすぎていく）

第二連

汚れちまた悲しみの状態
（狐の皮裘が汚れてしまったよつなものであり、小雪がかかちてちぢまるよつなも）

第三連

汚れちまた悲しみの心境
（向かを望んだり、願ったりするわけではなく、倦怠のつちに死を夢見しているだけ）

第四連

汚れちまた悲しみを抱えた詩人の状態
（汚れちまた悲しみに、痛々しく怖気つき、なすところもなくただ日は暮れるばかり）

鑑賞（第四連）

汚れちまた悲しみに

いたいたしくも怖気つき

汚れちまた悲しみに

なすところもなく日は暮れる……

汚れちまた悲しみを抱えた詩人の状態

（汚れちまた悲しみに、痛々しく怖気つき、なすところもなくただ日が暮れるばかり）

主題&まとめ

主題・・・

汚れちまたまた悲しみがいかに辛く、厳しいものであり、己を深く傷つけるものであるかを訴える。
(中原中也の心の中にある深い悲しみ?)

文法的発見

汚れちまたまた悲しみにと汚れちまたまた悲しみはどのような点が違うのか?

・ 汚れちまたまた悲しみに

対象を指定する助詞「に」により、悲しみが客体化されてとらえられている。

・ 汚れちまたまた悲しみ

は

物事を区別する助詞「は」により、悲しみが客主体化されてとらえられている。

汚れちまたまた悲しみに・・・

汚れちまたまた悲しみに
今日も小雪の降りかかる
汚れちまたまた悲しみに
今日も風さえ吹きすぎる

汚れちまたまた悲しみは
たとえは狐の皮裘

汚れちまたまた悲しみは
小雪のかかちてちびる

汚れちまたまた悲しみは
なにのそむなくねがつなく

汚れちまたまた悲しみは
倦怠のつらに死を夢む

汚れちまたまた悲しみに

いたいたしくも怖ろしく
汚れちまたまた悲しみに

なすくとびまなく日は暮れる……